

## フロントスポイラー 取付要領書

品番: D2531-59610-XX

設定型式: ZVW5#-AHX#B 設定グレード: 除くEグレード、フォグラмп非装着車


このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

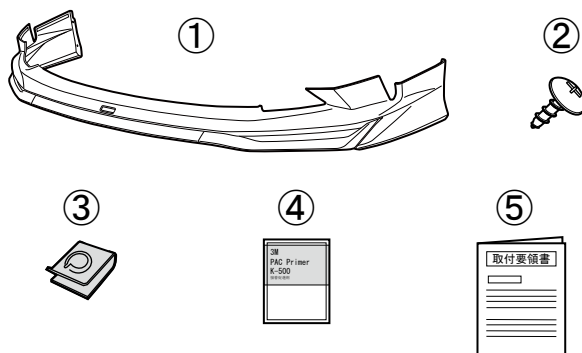
- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマー-K500を本品に添付)
- (重要)** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- (重要)** ■両面テープは、外気温が15°C以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- (重要)** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。500kPa(5kgf/cm<sup>2</sup>以上)
- (重要)** ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

### 取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

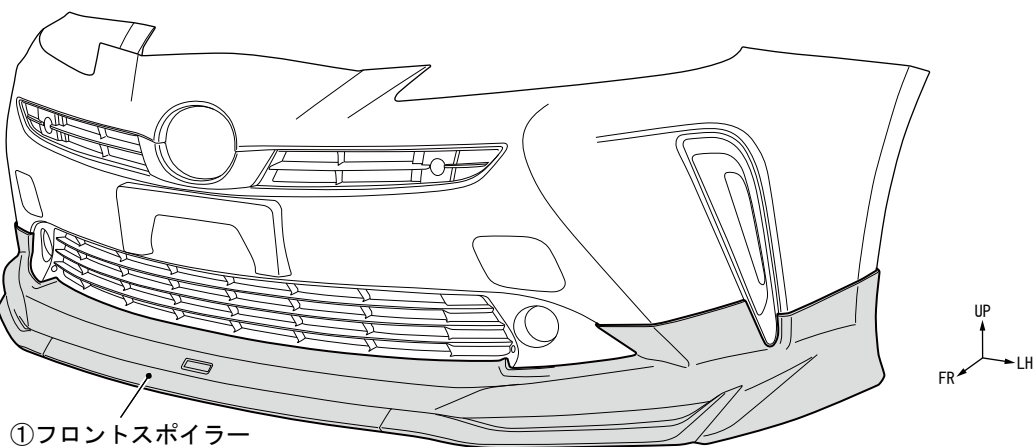
 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー (M4×12)	6
③	Uナット (M4)	6
④	PACプライマー-K500	1
⑤	取付要領書	1

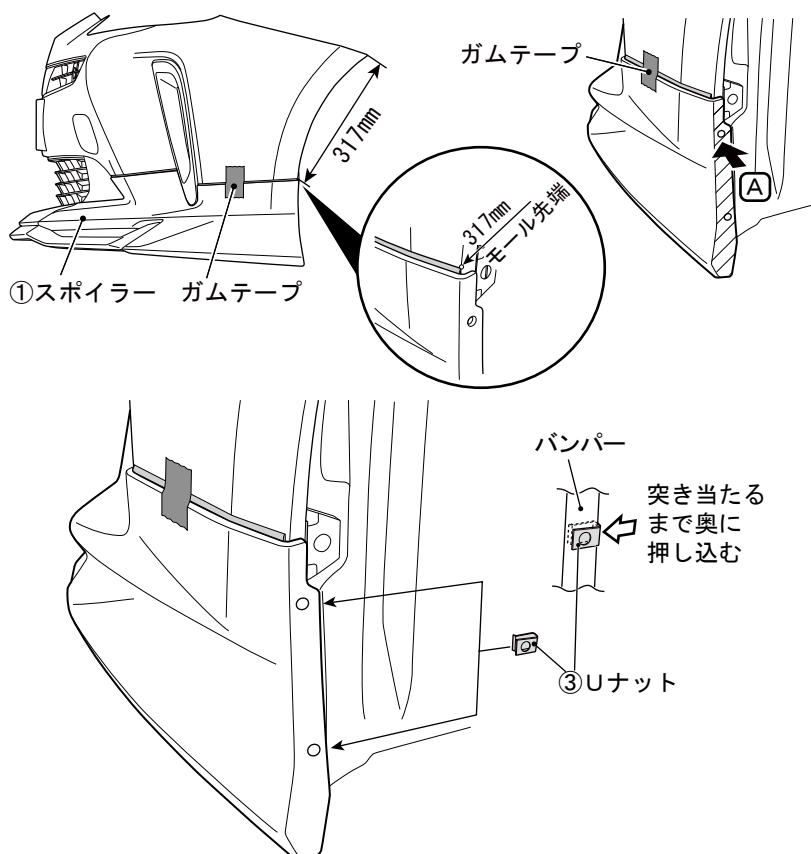
取付概要



# 取付手順

(1) 仮組とプライマー塗布

LH図示 ※RHも同様に



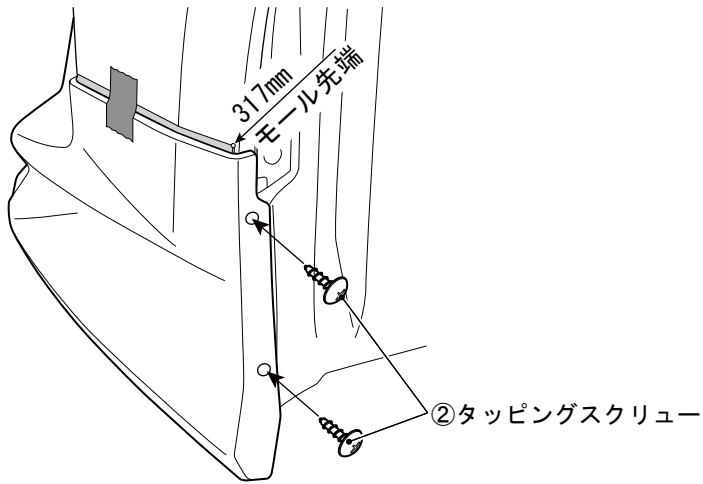
1. ①フロントスポイラー (以下スポイラーと省略) をバンパーにかぶせ、フェンダーアーチ部エンドモール先端を指示寸法に合わせる。(左図参照)

2. ①スポイラーの取付穴に合わせて③Uナットをバンパーに差し込む。  
 Ⓐ斜線部タイヤハウス面を押して①スポイラー裏面とバンパーに差し込んだ③Uナットの間隙が無くなる様にし、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

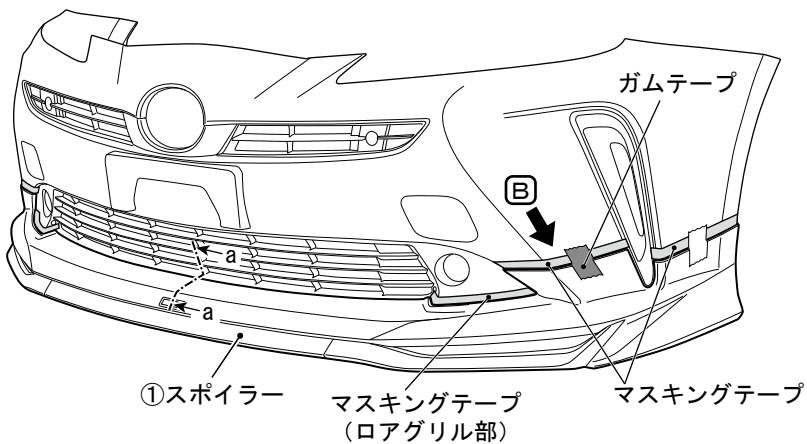
👉 **アドバイス**

③Uナットが動く場合は、Uナットをプライヤー等で軽く締め付けてから差し込んで下さい。

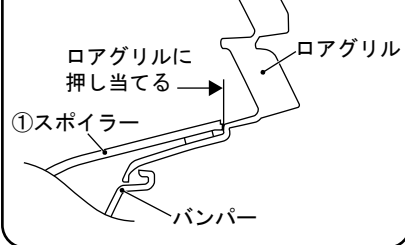
LH図示 ※RHも同様に



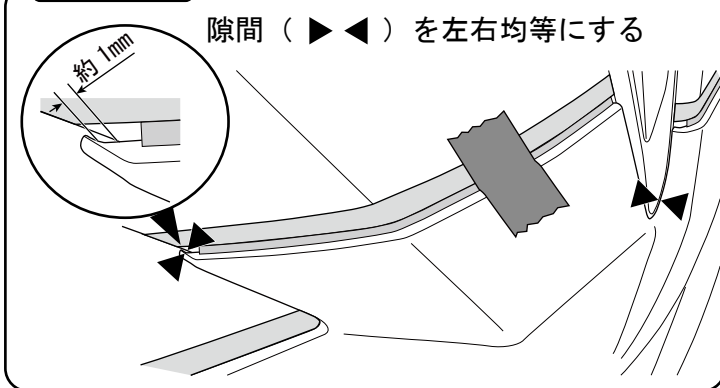
LH図示 ※RHも同様に



[a-a 断面図]



[B 矢視部詳細]



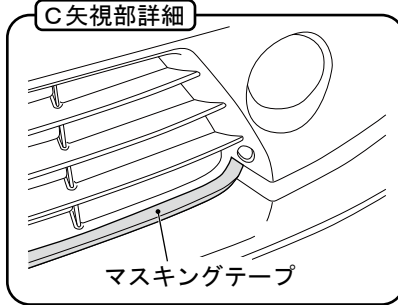
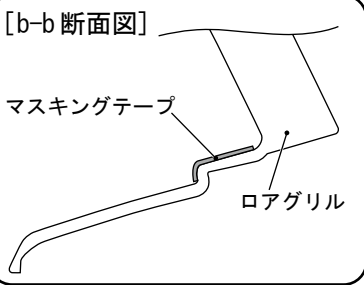
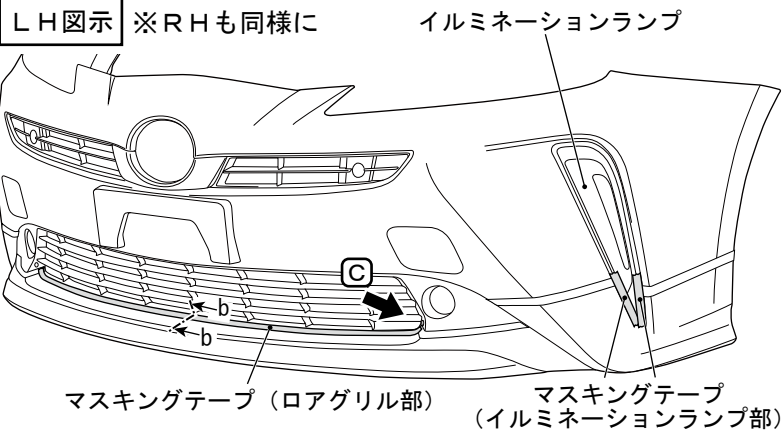
3. エンドモール先端が指示寸法になっている事を確認し、②タッピングスクリューで仮締めする。  
(左図参照) (左右各2カ所 計4カ所)

### アドバイス

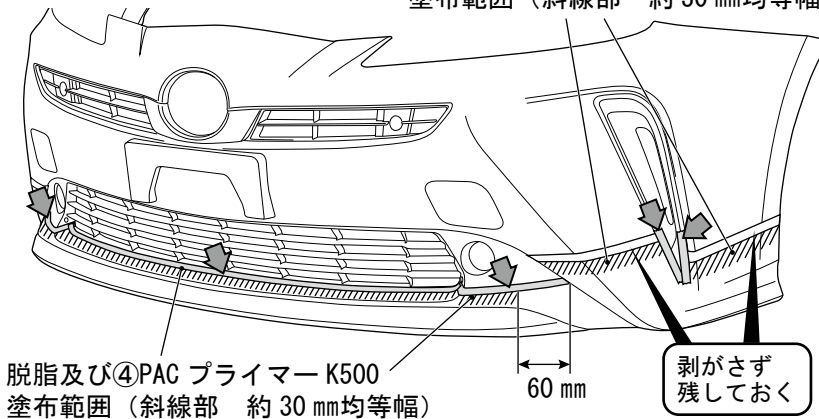
下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行って下さい。

4. ①スポイラー中央の凸形状を、ロアグリルに押し当て (左図a-a断面図参照) ロアグリル部の隙間を均等に保ち左図 [B] 矢視部 (▶◀) の隙間を左右均等にし、ガムテープ等で仮固定する。  
(この手順のガムテープの図中表示は濃い灰色、前の手順のガムテープは白で表示。以下の手順も同様に表示) (左図 [B] 矢視部詳細 参照)
5. ①スポイラーのエンドモール上端とフォグランプ前ロアグリル部にマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)

マスキングテープ貼付位置

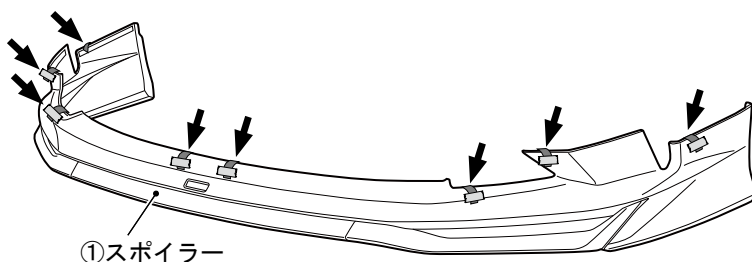


LH図示 ※RHも同様に 脱脂及び④PAC プライマー K500 塗布範囲 (斜線部 約 30 mm均等幅)



↑で示す箇所のマスキングテープは ④PAC プライマー K500 塗布後剥がす

(2) 取付準備



6. フェンダーアーチ部に仮締めをした②タッピングスクリューを外し、①スポイラーを一旦取り外す。  
(左右各2カ所 計4カ所)

7. ④PACプライマーK500を塗布する際の、保護の為にロアグリル部とイルミネーションランプ部にマスキングテープを貼り付ける。  
(左図マスキングテープ貼付位置参照)

8. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を脱脂する。

9. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) に④PACプライマーK500を塗布する。

👉 アドバイス

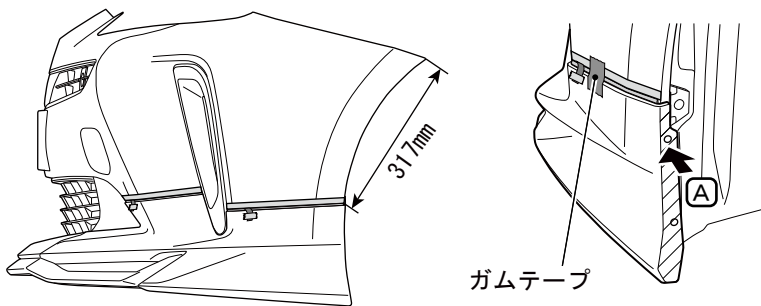
- ・④PACプライマーK500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ・④PACプライマーK500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

10. ロアグリル部とイルミネーションランプ部に貼り付けたマスキングテープを剥がす。

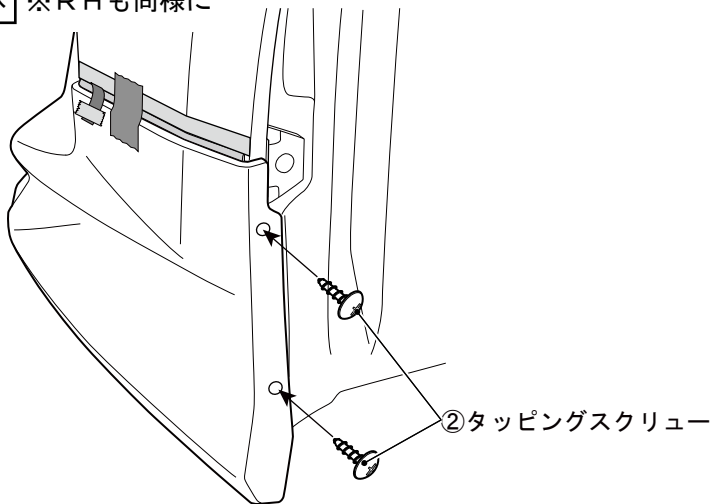
1. ①スポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。  
(左図参照、8カ所)

(3) 取り付け

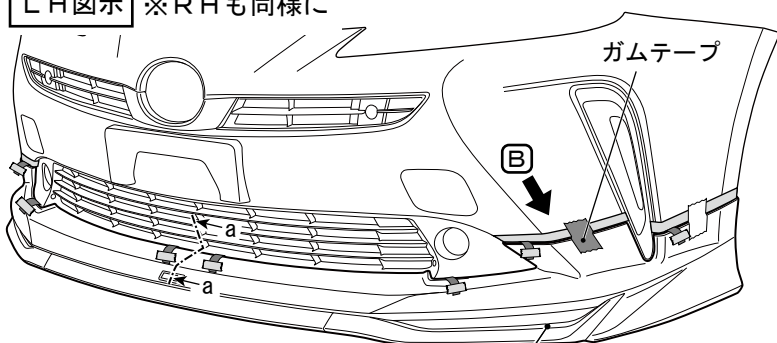
LH図示 ※RHも同様に



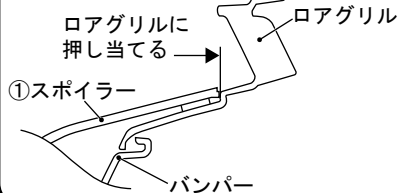
LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に

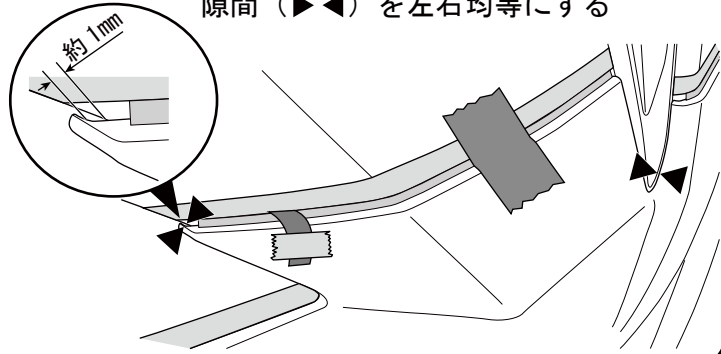


[a-a断面図]



B矢視部詳細

隙間 (▶◀) を左右均等にする



1. ①スポイラーをバンパーにかぶせ、マスキングテープ下端に①スポイラーのエンドモール上端を合わせ、フェンダーアーチ部エンドモール先端を、指示寸法に合わせる。

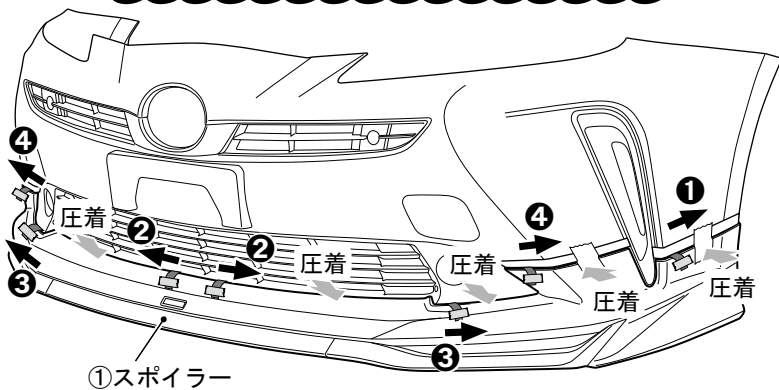
Ⓐ斜線部タイヤハウス面を押して①スポイラー裏面とバンパーに差し込んだ③Uナットの間に隙間が無くなる様にし、ガムテープ等で仮固定する。  
(左図参照)

2. エンドモール先端が指示寸法になっている事を確認し、①スポイラーの取付穴に合わせて②タッピングスクリューで仮締めする。  
(左図参照) (左右各2カ所 計4カ所)

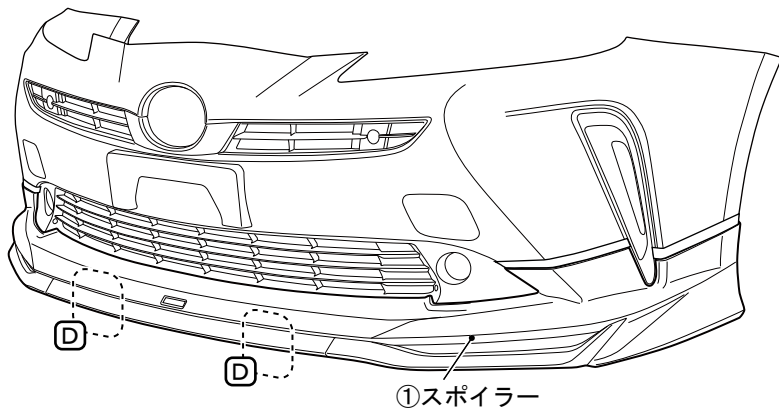
3. ①スポイラー中央の凸形状を、ロアグリルに押し当て (左図a-a断面図参照) ロアグリル部の隙間を均等に保ち左図Ⓑ矢視部 (▶◀) の隙間を左右均等にし、ガムテープ等で仮固定する。  
(左図 Ⓑ矢視部詳細 参照)

LH図示 ※RHも同様に

※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）



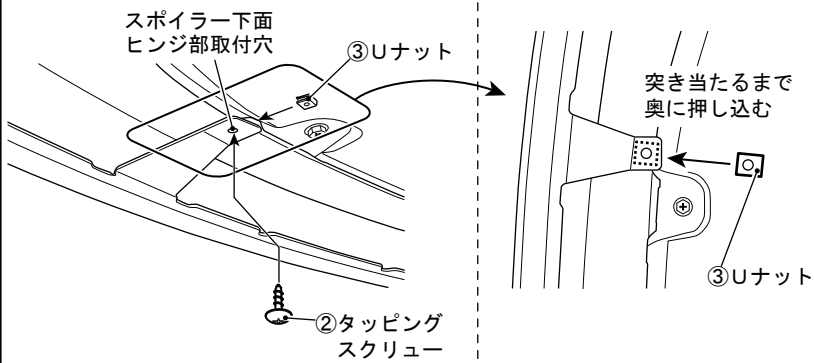
①スポイラー



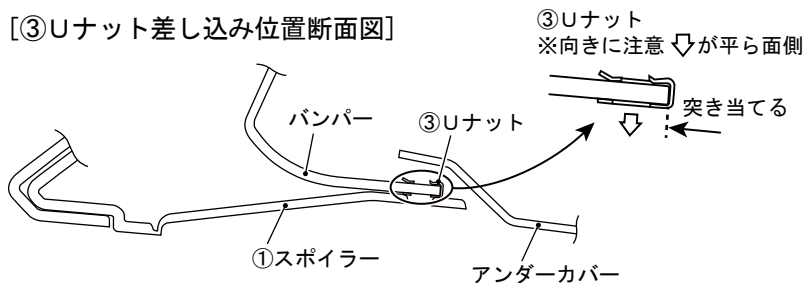
①スポイラー

D部詳細

LH図示 ※RHも同様に



[③Uナット差し込み位置断面図]



4. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。（左図参照）

※①の離型紙が引き抜きにくい場合、タイヤハウス部上側のタッピングスクリューを少し緩めて下さい。

※離型紙を引き抜く際に、①スポイラーの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

5. ①スポイラーの下面ヒンジ部取付穴に合わせて③Uナットをバンパーに差し込み、②タッピングスクリューで仮締めする。（左図 D部詳細 参照）（左右各1カ所 計2カ所）

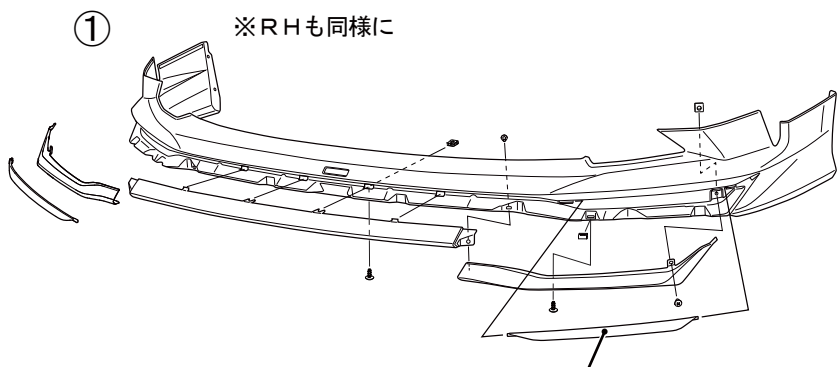
アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

6. 全てのマスキングテープを剥がす。
7. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
8. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。（6カ所）

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品



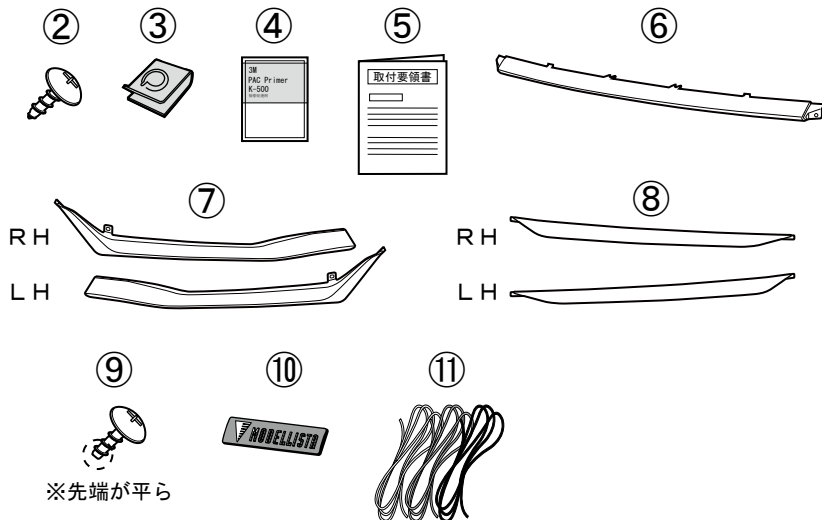
※1: キズを付けない様に注意し、最初に取り外す。  
(マスキングテープ等を貼付け、引っ張って外して下さい。)

※2: ③Uナット: 6個、⑥メッキパーツCTR、⑦メッキパーツRH/LH、  
⑧シボプレートRH/LH、⑨Bタッピングスクリュー (M4×12) は  
①フロントスポイラーに仮固定されています。塗装前に外してください。  
塗装後の取り付け作業に必要ですので、紛失されない様注意して下さい。

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー(M4×12)	6
※2 ③	Uナット	12
④	PACプライマーK500	1
⑤	取付要領書	1
※2 ⑥	メッキパーツCTR	1
※2 ⑦	メッキパーツRH/LH	左右各1
※2 ⑧	シボプレートRH/LH	左右各1
※2 ⑨	Bタッピングスクリュー(M4×12)	8
⑩	エンブレム	1
⑪	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

## ⑪エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
221	ブラッキッシュアゲハガラスフレック	ブラック
3U5	エモーションナルレッドII	ブラック
4X1	スティールブロンドメタリック	グレー
6W7	サーモテクトライムグリーン	グレー
8X7	ブルーメタリック	ブラック



## 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

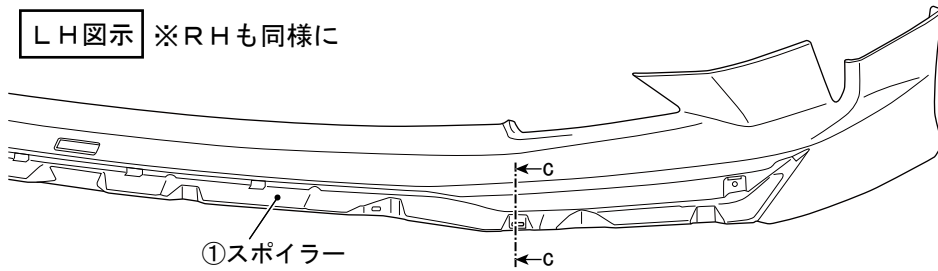
※本製品の素材は<PP>です。

4. 上塗り塗装を行なう。  
◎注記: 上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。  
◎注記: 乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃  
以下で乾燥させて下さい。

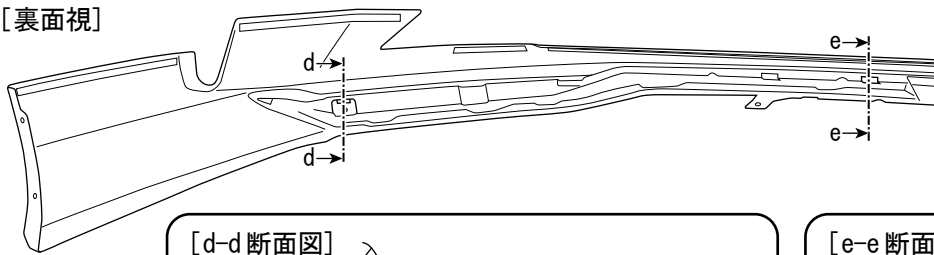
## メッキパーツとシボプレートの取り付け作業

1. 塗装完了後、①スポイラーに③Uナットを差し込む。(左右各3カ所 計6カ所)

LH図示 ※RHも同様に



[裏面視]



[c-c 断面図]

①スポイラー

③Uナット  
※向きに注意 ⇩が平ら面側

[d-d 断面図]

①スポイラー

③Uナット  
※向きに注意 ⇩が平ら面側

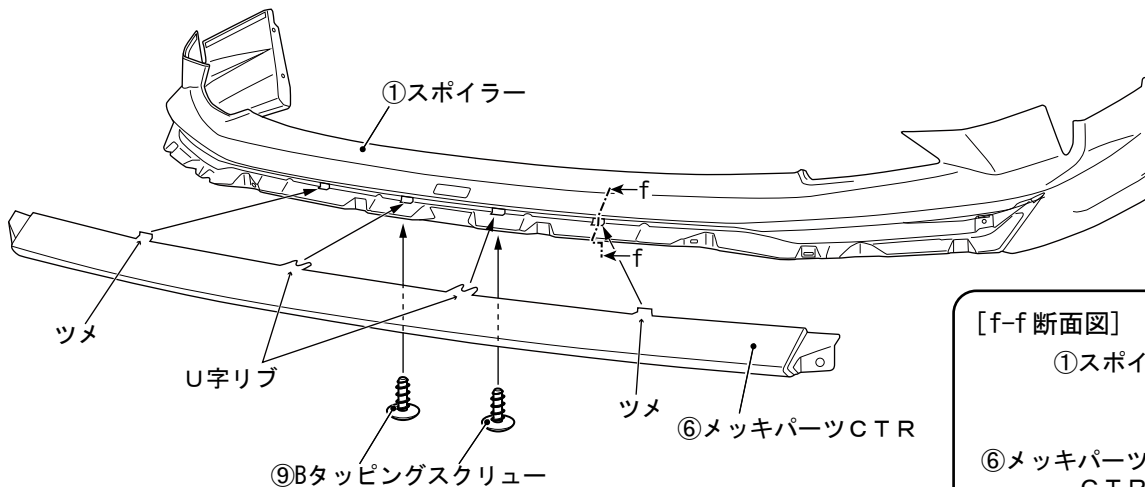
[e-e 断面図]

①スポイラー

③Uナット  
※向きに注意 ⇩が平ら面側

2. ⑥メッキパーツCTRのツメとU字リブを①スポイラーの穴に差し込み、①スポイラーの形状に合わせて被せ、⑨Bタッピングスクリューで固定する。(2カ所)

※⑨Bタッピングスクリュー固定時、③Uナットが抜けない様に注意して下さい。



[f-f 断面図]

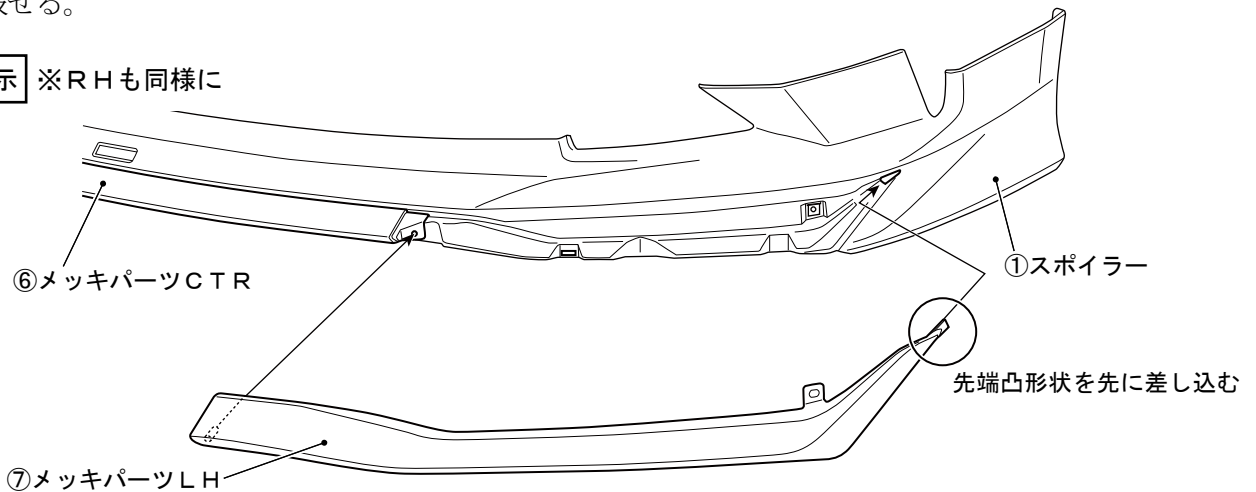
①スポイラー

⑥メッキパーツ  
CTR

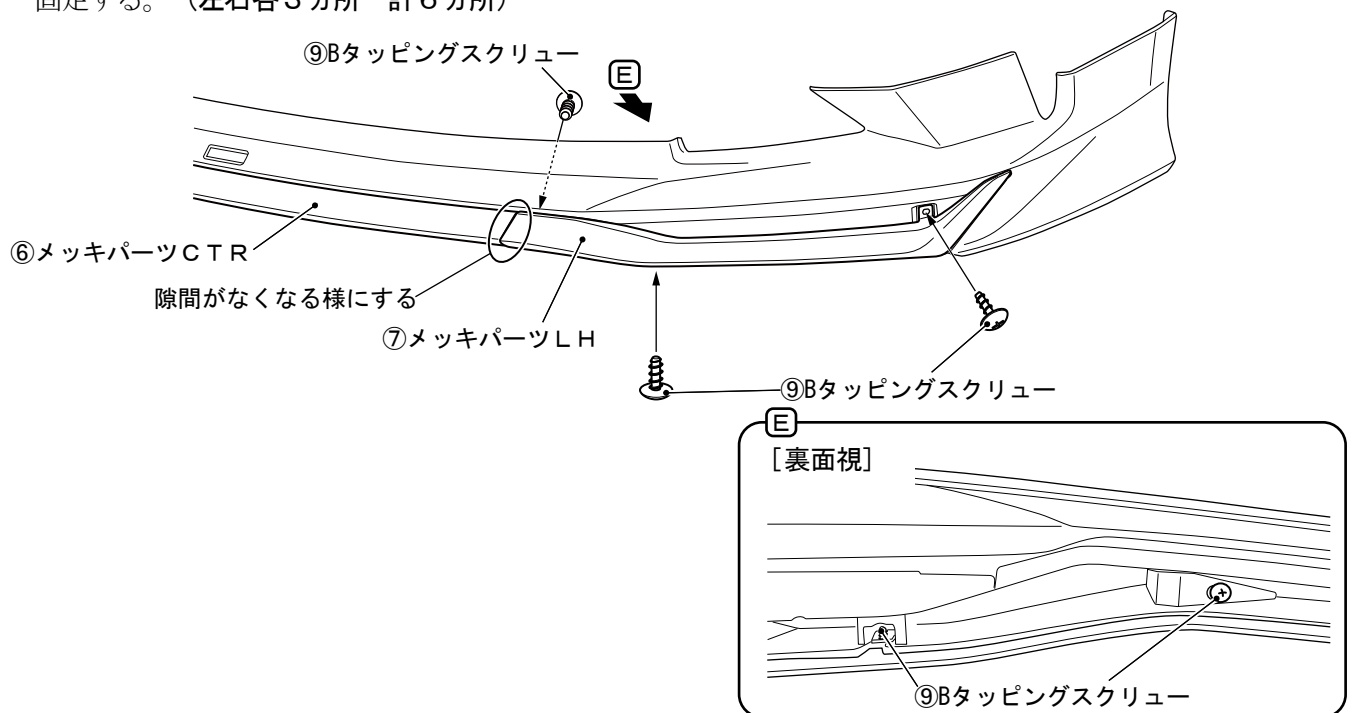
ツメ部

3. ⑦メッキパーツLHの車両外側先端凸形状を先に①スポイラーの穴に差し込み、①スポイラーの形状に合わせて被せる。

LH図示 ※RHも同様に

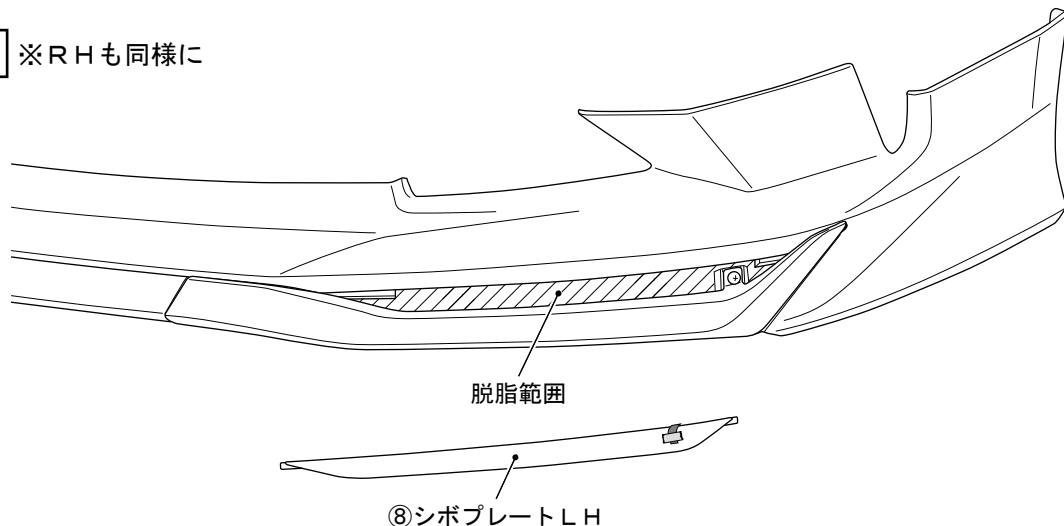


4. ⑥メッキパーツCTRと⑦メッキパーツLHの合わせ部に隙間がなくなる様にし、⑨Bタッピングスクリューで固定する。(左右各3カ所 計6カ所)



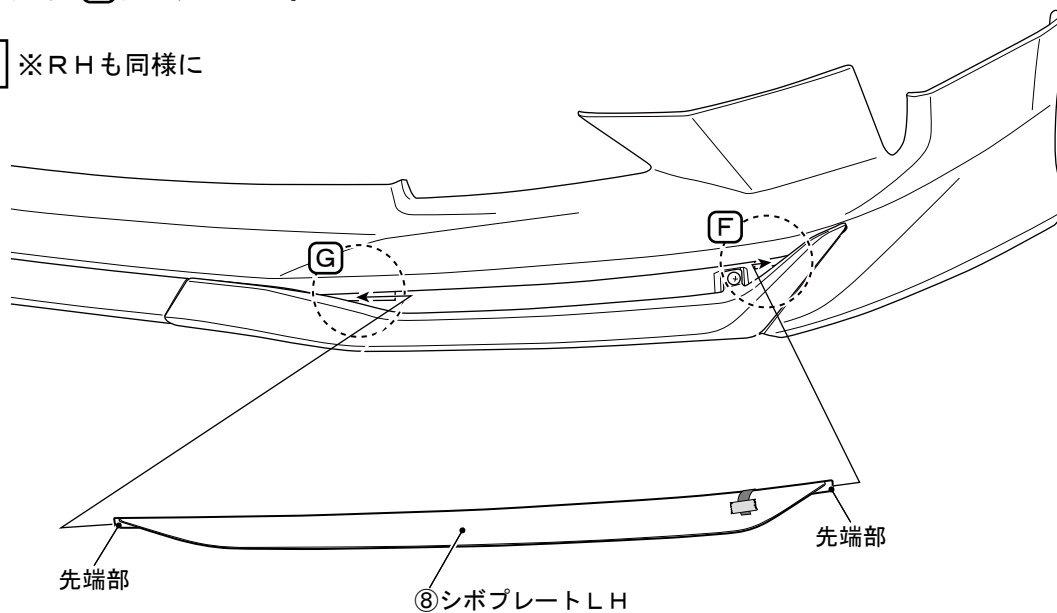
5. ①スポイラーと⑧シボプレートLHの両面テープ貼り付け位置と形状を確認する。  
 6. ⑧シボプレートLH貼り付け部(下図斜線部)の汚れ、ゴミ、ほこり等をウエスで取り除き、必ず脱脂する。  
 7. ⑧シボプレートLHの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に



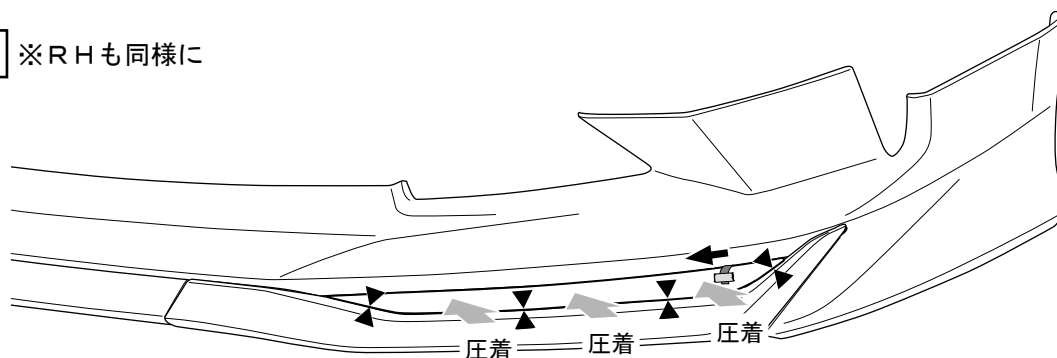
8. ⑧シボプレートLHの先端部を①スポイラー車両外側の凹溝（下図F）に先に差し込み、次に車両中央側の凹溝（下図G）に差し込む。

LH図示 ※RHも同様に



9. ⑧シボプレートLHと⑦メッキパーツLHの合わせる範囲（▶◀）に隙間がなくなる様に位置を決め、左右のズレがない事を確認してから両面テープ離型紙を矢印（◀▶）の方向に引き抜き、必ず表と裏から圧着する。

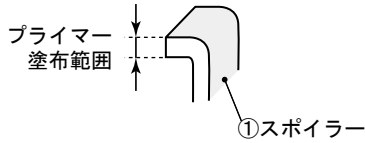
LH図示 ※RHも同様に



## エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑪エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、④PACプライマー-K500を塗布する。

### PACプライマー-K500塗布範囲



### アドバイス

- ④PACプライマー-K500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ④PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ④PACプライマー-K500塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑪エンドモールを貼り付ける。

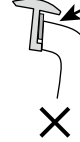
### アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、十分に圧着して下さい。

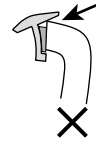
奥まで押し込む



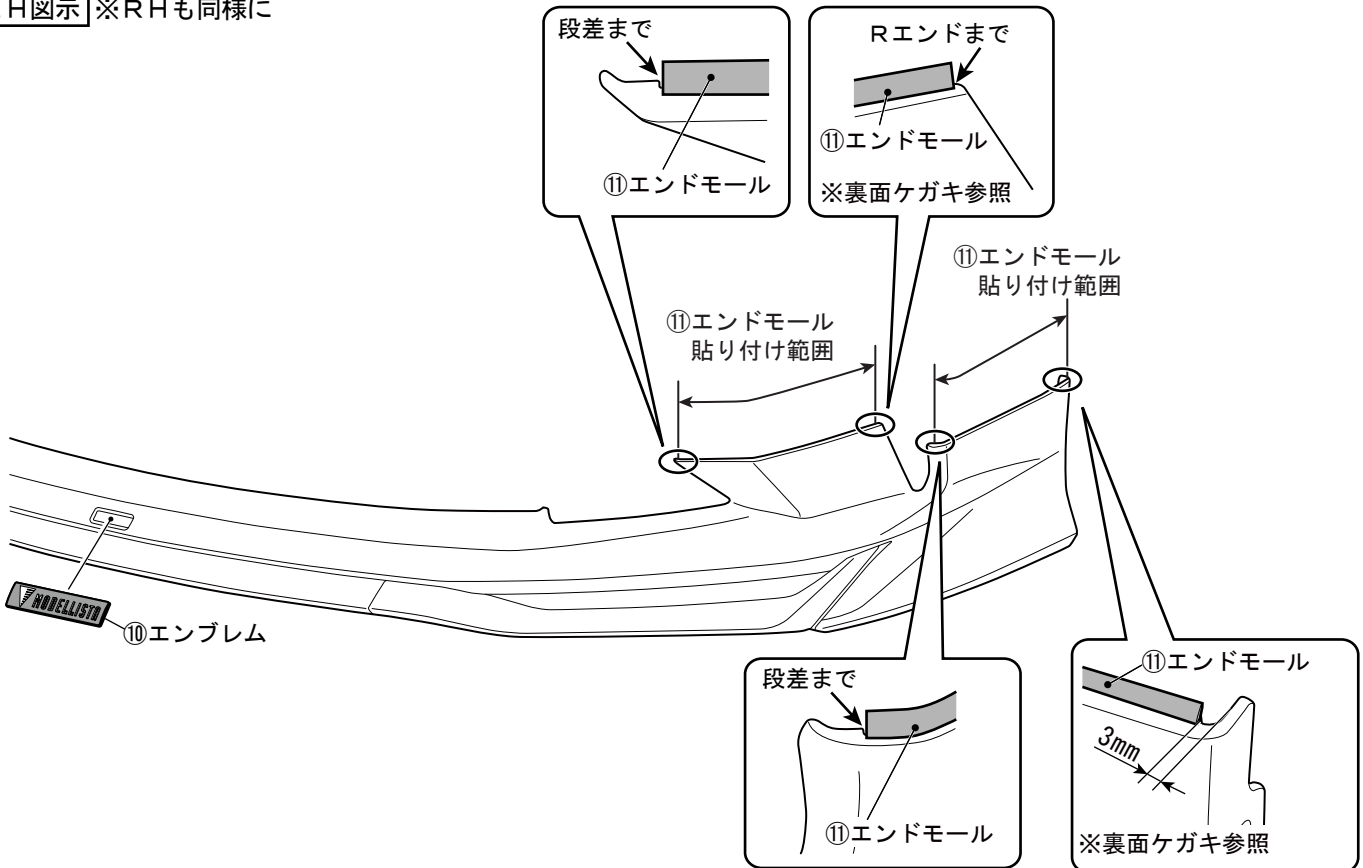
隙間が空いている



傾いている



### LH図示 ※RHも同様に

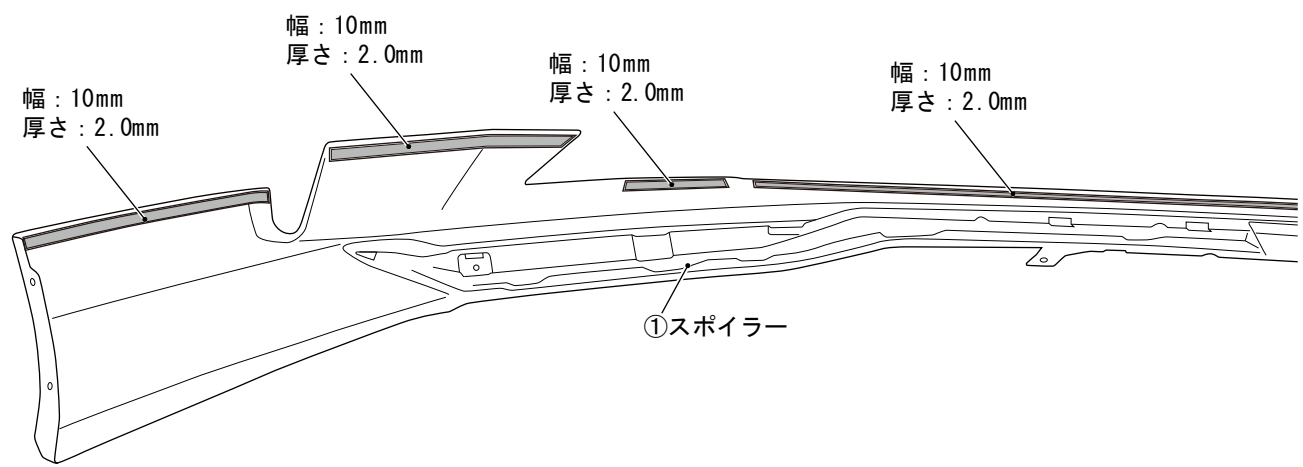


3. ⑪スポイラー中央のエンブレム貼り付け部を脱脂し、⑩エンブレムを貼り付ける。

### 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①スポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。（テープの貼り付け位置はケガキを参照）

LH図示 ※RHも同様に



/取説ア リウスFR(ELE)塗装  
8000T-RS010-26